

2011年2月期

決算説明資料

2010年3月～2011年2月



株式会社 エスケイジャパン

代表取締役社長 久保 敏志

(証券コード:7608)

SKグループ事業内容

会社名	主な事業内容	セグメント
 <p>株式会社 エスケイジャパン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アミューズメント業界向け販売部門 ・SP(セールスプロモーション)部門 ・ECサイト(インターネットショッピング)部門 	卸売事業
 <p>株式会社 サンエス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物販業界向け販売部門 ・ヴィレッジヴァンガード、ドン・キホーテ、キデイランド等へのキャラクターグッズ販売 	卸売事業
 <p>株式会社 ケー・ディー・システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターグッズの企画開発・販売 ・グループのメーカー部門として展開 (エスケイジャパン・サンエスへの売上は全体の約60%) 	卸売事業
 <p>株式会社 ナカヌキヤ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナカヌキヤ」「SALAD BOWL」による小売事業 心齋橋店 広島本通り店 松山銀天街店 つかしん店 広島ASSE店 河原町店 	小売事業
 <p>SKJ USA, INC.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカでのキャラクターグッズ販売 ・アメリカのキャラクター発掘と日本への情報提供 (10年8月よりスタート) 	卸売事業

業績報告

業績ハイライト(当期／前期)

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前 期	当 期	増 減	増減率
売上高	9,585	9,458	△127	△ 1.3%
卸売事業	8,502	8,461	△ 40	△ 0.5%
小売事業	1,082	996	△ 86	△ 8.0%
営業利益	493	286	△206	△41.8%
卸売事業	533	308	△224	△42.1%
小売事業	△ 42	△ 22	—	—
経常利益	527	287	△240	△45.6%
当期純利益	302	139	△162	△53.9%

物販業界向け部門とSP部門は好調であったが、AM業界向け部門および小売事業の不振により減収減益となる

主な売上高増減要因(当期／前期)

(単位:百万円)

	前 期	当 期	増 減	増減率
卸売事業	8,502	8,461	△ 40	△ 0.5%
AM業界向け部門	4,854	4,080	△ 774	△ 16.0%
SP部門	1,048	1,339	290	27.7%
EC部門	22	60	38	172.1%
物販業界向け部門	2,577	2,981	404	15.7%
小売事業	1,082	996	△ 86	△ 8.0%

卸売事業

- ・AM業界向け部門の路面店向け売上高の減少 △439百万円
前期ヒットしたスージー・ズーの反動(前期比△66.0%)と「ワンピース」関連商品の供給が不十分
- ・SP部門の出版業界向け売上高 +159百万円 食品業界向け売上高 +136百万円
- ・物販業界向け部門のバラエティ雑貨の売上高 1,925百万円

小売事業

- ・「ナカヌキヤ」3店舗の売上高の減少 △150百万円
- ・「SALAD BOWL」の売上高の増加 +64百万円

主な営業利益増減要因(当期／前期)

(単位: 百万円)

	前 期	当 期	増 減	増減率
営業利益	493	286	△206	△41.8%
卸売事業	533	308	△224	△42.1%
小売事業	△ 42	△ 22	—	—

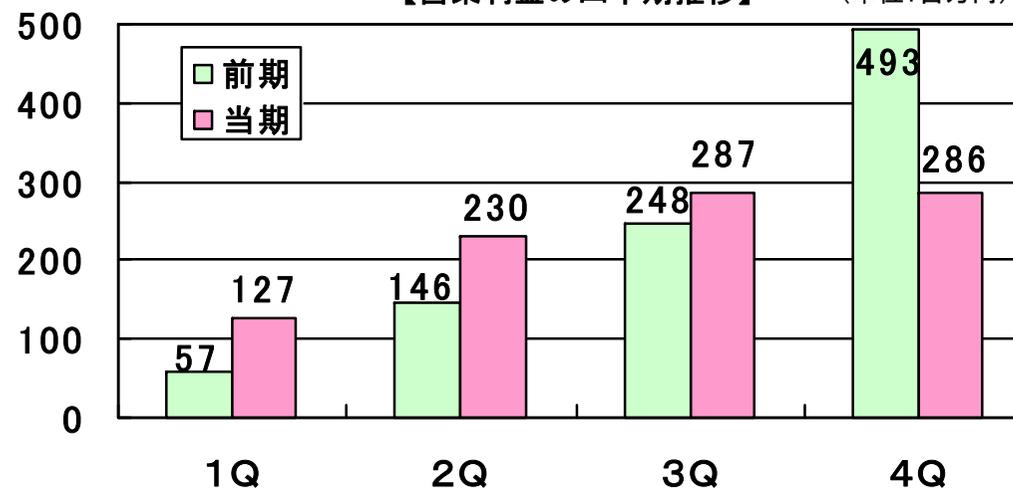
卸売事業

- ・エスケイジャパンが69.6%減益となったため、卸売事業は42.1%の減益となる
- ・営業利益率は2.6ポイントダウン

小売事業

- ・営業損失は19百万円の改善
- 販管費10百万円の削減

【営業利益の四半期推移】 (単位: 百万円)



当期決算概要のまとめ

売上高減少要因

【卸売事業】

物販業界向け販売部門とSP部門は好調であったが、AM向け販売部門が前期比16.0%減となり減収となった。

【小売事業】

新業態店舗「SALAD BOWL」は2店舗出店し好調であったが、全体の業績を押し上げるまでには至らなかった。

営業利益増減要因

【卸売事業】

エスケイジャパンが69.6%減益となったため、卸売事業は42.1%の減益となる

・営業利益率は2.6ポイントダウン

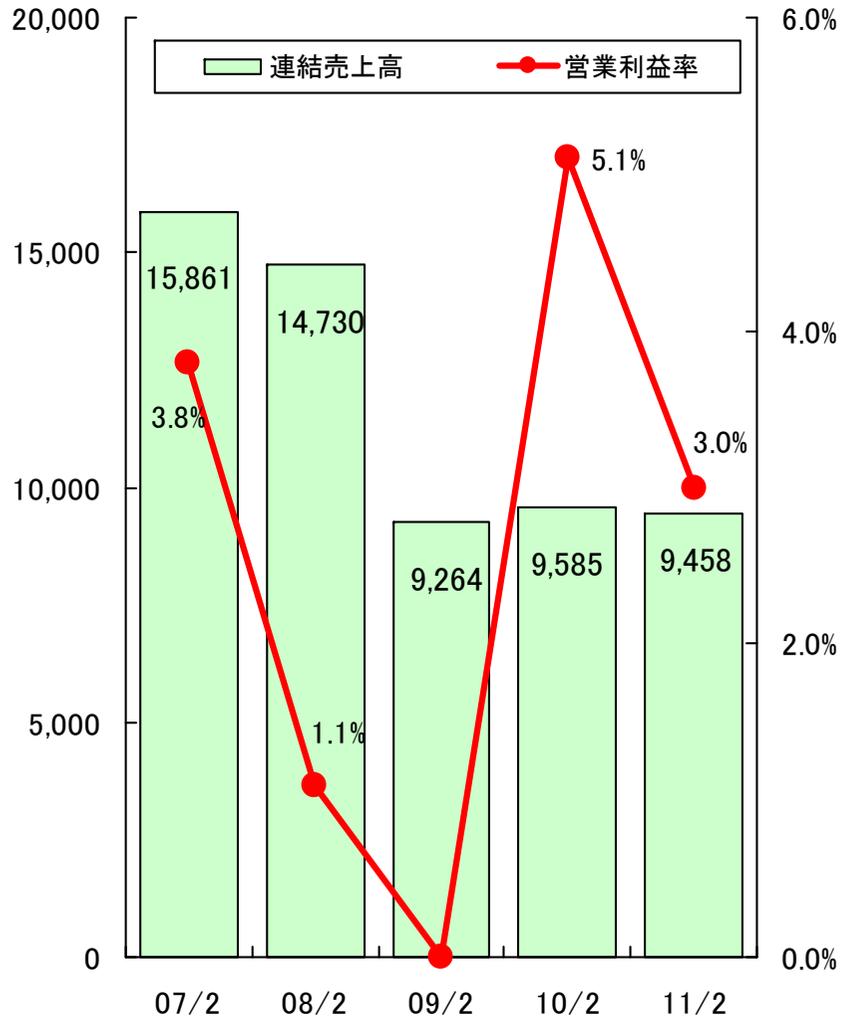
【小売事業】

販管費の削減等により、営業損失は19百万円の改善。

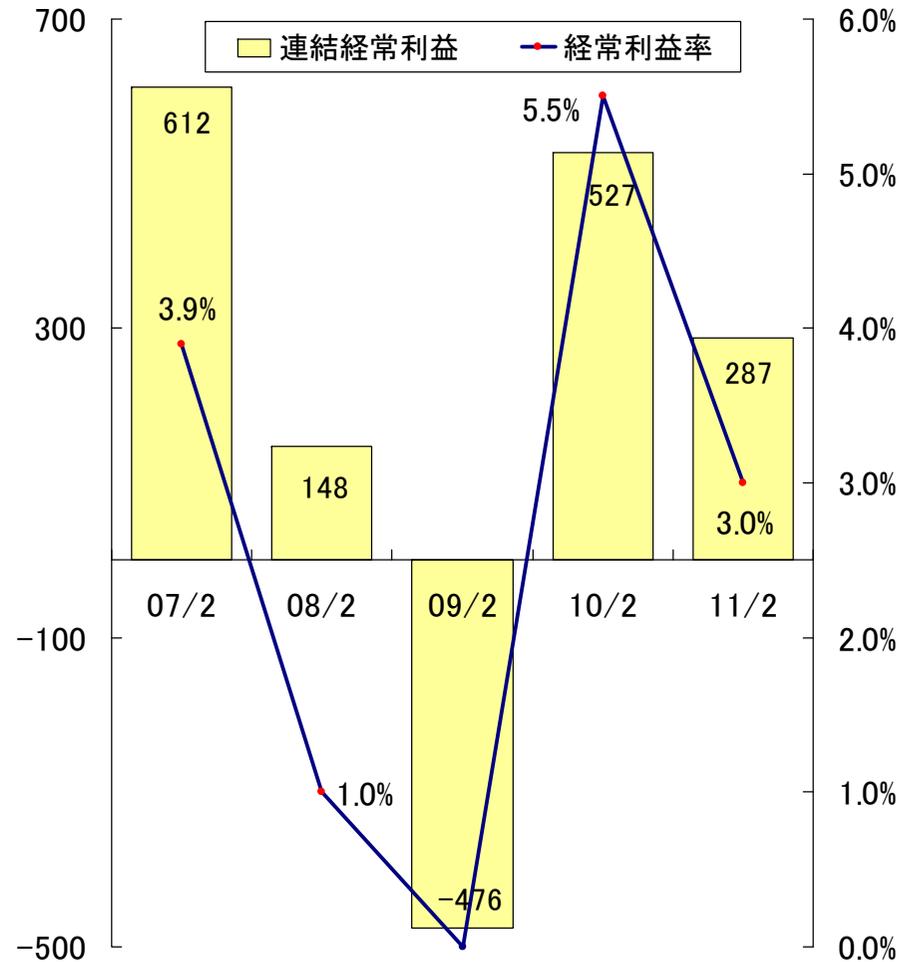
損益推移

(単位:百万円)

連結売上高・営業利益率の推移



連結経常利益・経常利益率の推移



配当および業績見込み

株主還元

当社は株主還元として年12円(中間6円、期末6円)の配当を基本にし、計画を上回る利益が見込める場合は、増配もしくは株式分割を実施することを経営の重要課題としております。

2003/3	2004/3	2005/3	2006/2	2007/2	2008/2	2009/2	2010/2	2011/2	2012/2 (予想)
1:1.3	1:1.2	1:1.3 1:1.1	—	—	—	—	—	—	—
16円	17円	20円	14円	14円	12円	9円	14円	12円	12円
記念 配当4円	記念 配当5円	記念 配当8円	記念 配当2円	特別 配当2円			記念 配当2円		
東証2部 上場記念	阪神 タイガース 優勝に伴う 好業績 に対して	(※) 東証 大証 1部上場 記念 創立15周 年記念	阪神タイ ガース 優勝	(※) 当初の 計画を 上回る 好業績 達成			創立20 周年記念		

(※)SKグループは阪神タイガースグッズを企画販売し、また阪神タイガースオフィシャルショップをナカヌキヤ広島本通り店で展開しており、グッズの企画販売を通して阪神タイガースを応援してきたことによります。

通期業績予想(来期予想／当期実績)

連結業績予想

2012年2月期

2011年2月期

(単位:百万円)

	当期実績 (2011年2月期)	来期予想 (2012年2月期)	予想増減額	予想増減率
売上高	9,458	9,500	41	0.4%
営業利益	286	288	1	0.4%
経常利益	287	290	2	1.0%
当期純利益	139	245	105	76.0%

個別業績予想

(単位:百万円)

	当期実績 (2011年2月期)	来期予想 (2012年2月期)	予想増減額	予想増減率
売上高	5,571	5,700	128	2.3%
営業利益	132	135	2	2.2%
経常利益	142	155	12	8.7%
当期純利益	55	153	97	177.2%